

ゆうあい、

Vol.98

特別養護老人ホーム ゆうあいホーム／大竹市養護老人ホーム ゆうあいの里／ゆうあいホーム短期入所生活介護事業所／デイサービスセンターゆうあいホーム／訪問介護事業所ゆうあい／居宅介護支援事業所ゆうあい／訪問入浴介護事業所ゆうあい／訪問看護事業所ゆうあい／介護タクシーゆうあい／小島新開の家デイサービス事業所／認知症対応型共同生活介護グループホームふきのとう／小規模多機能居宅介護ふきのとう

発行 社会福祉法人 広島友愛福祉会 大竹市玖波4丁目8-8 TEL 0827-57-7500

発行責任者 桜田 雅文

ゆうあいと私



広島友愛福祉会理事の藤川 洋です。

昨年12月末に中国から発生しました新型コロナウイルス感染は瞬く間に世界に伝播し、医療に経済に苦難な状況をもたらしています。“ゆうあい”のみなさまは、広島県や大竹市のご指導の下に、万全の「感染防止」と「機能維持」対策とそれに伴う細心の注意を払われて、言葉では表すことのできないご尽力を継続させていただいていることに心より賛美と感謝を申し上げます。5月初旬に政府は「新しい生活様式」を示し、続いている新型コロナウイルス感染予防対策を発表しましたが心配は続きそうです。第2波、第3波の感染拡大も心配されています。これらを乗り越え、1日でも早く終息して、みなさんが普通の生活に戻られ、“ゆったり・うきうき・あんしん生活・いつまでも”の“ゆうあい”となることを切に願っています。

“ゆうあい”と私の関わりは、1993年4月に大竹ゆうあいホームが開設した時から始まります。その後2006年に広島友愛福祉会評議員、2017年5月からは理事に就任させていただいたことから更に関係を深めさせていただいています。私は1986年6月に広島YMCAをサポートする奉仕組織の広島ワイズメンズクラブに入会していましたので、既にこの時から関わりは始まっていたのでしょうか。そうすると34年の関わりということになります。

以来、広島ワイズメンズクラブの仲間と一緒に納涼祭、喫茶の手伝い、ゆうあい祭り、庭園の草刈り作業に“ゆうあい”を訪問し、入所者のみなさま、職員、スタッフのみなさまと交流の場を重ね、元気をいただけてきました。今年も広島ワイズメンズクラブでは、“ゆうあい”の草刈り作業を行う計画を立てています。その時はまた“ゆうあい”のみなさまの元気な姿にお目にかかりたいと願っています。

社会福祉法人 広島友愛福祉会 理念

「自立と共生」

自立支援の考え方で、地域の皆さんと共に、
要援護者の方を支援します。

ゆったり・うきうき・あんしん生活・いつまでも

ゆうあいホーム本館

4～6月の行事から

5月17日(日)午後からゆうあい喫茶を行いました。
ホームの食堂を喫茶店に見立て、毎回担当スタッフが和洋メニューを考えておいしいスイーツを楽しんでいただく内容になっています。5月は羊羹セットと玄米茶のメニューでした。みなさん良い表情で召し上がられていました。



6月9日(火)の昼食時間に6月生まれの方の誕生会を行いました。誕生者の方には前に出ていただき、お一人ずつご紹介をしました。(6名いらっしゃいました。)誕生日カードとミニブーケをお渡しして全員で誕生日の歌でお祝いしました。

新型コロナウイルス感染対策で自粛を強いられる中、派手なことはできませんが、施設内で気分転換をしていただけるようスタッフも頭をひねって取り組んでいます。一日も早く普通の生活(日常生活)が取り戻せるように祈る日々です。

* 5月7日(木)～9日(土)は毎年恒例の“しょうぶ湯”を行っています。



ゆうあいホーム新館

食事が楽しみ!



新型コロナウイルス感染のニュースが毎日流れ周囲は騒がしいのですが、新館の皆様は穏やかに過ごされています。お誕生日会では昼食にちらし寿司やケーキが出ました。普段は、食事を残しがちな利用者様もしっかり食べておられました。5月5日の子供の日には、壁や食事の御膳に鯉のぼりの飾り付けをして、季節感を感じられるように心掛けています。

ゆうあいデイサービス

4月

8



5



6月

デイサービスでは毎日笑いが絶えません。皆さんに楽しんでいただけるように色々なレクリエーションを考え、工夫しています。これからも笑顔の絶えないデイサービスを目指していきます。



ふきのとう (小規模多機能・グループホーム)

前向きにマスク生活

4、5、6月はとにかく新型コロナウイルス感染予防の対応で、ご利用者様、ご家族様にご迷惑をおかけしました。グループホームでは入居者様は面会中止のため3か月以上もご家族と会えず、携帯電話による面会は画面の小ささと声の聞こえにくさがありご自身の家族を認識できない方もおられました。お花見やドライブ、外食も中止した中、少しでも入居者のストレスを軽減するため、ベランダで桜鑑賞、近くの散歩、レクリエーションの時間を増やしたりと、職員もあの手この手で奮闘しました。

小規模多機能でも、非常事態宣言下は「通い」の自粛をお願いし、宣言が終了後もマスク生活は続き、コーラス等の訪問中止、ドライブ、外食、カラオケの中止、食事は前を向いて座るのでおしゃべりできないなど、皆さんが楽しみにされていることができず、不自由な状況が続いています。「えー、お花見しないの？でも仕方ないね。」がっかりされる方も多く、職員も申し訳なく思っています。

「いつものふきのとう」に戻ったら、今まで我慢した分、しっかり楽しんでいただこうと考えています。



「前向き(で)ごはん」

「外の空気を吸いましょう」

「八重桜きれいねー」

「ベランダからお花見」



小島新開の家(障がい者デイサービス)

4月 なごみ茶会 室内で、しっとりとお茶会。
新型コロナウイルス感染予防対策で、来客を招いてのお茶会は中止。室内で雰囲気を楽しみました。

変わりご飯の日 = 炊き込みご飯定食



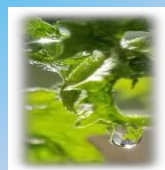
5月 コロナ対策！ 朝の会でコロナ感染予防学習。利用者と一緒に日中2回、送迎に送り出してから1階共有部分の消毒。免疫力を高めるために、外でのラジオ体操や午後からのタオル体操を取り入れています。

変わりご飯の日 = そうめん定食



6月

利用者定員数を元に戻すため、3密をなるべく避ける対策として卓上飛沫感染防止スクリーンとビニールカーテンを設置しました。大竹市公衆衛生推進協議会のグリーンカーテンコンテストに今年も応募しました。今年こそは入賞するよう がんばるぞ！



ゆうあいの里

新型コロナウイルス感染防止対策として広島県下に非常事態宣言が出ていた間は入居者に通院以外の外出をお断りしていました。外からの面会・訪問も自粛をお願いしており、入居者のみなさんはニュース等で状況がわかってはいても制限期間が長くなるとストレスが溜まっているように見えました。



「里の花」

入居者のみなさんに花を見て和んでいただきたい。中庭と1棟2棟間の花壇に花が次々に咲きました。咲き終わった後でも見ていただけるよう残しておこうと、「里の花」と題して写真を貼りだしています。



寄附者ご氏名 (令和2年3月～令和2年5月)

ゆうあいホーム

上江 英子様 藤田 政一様 大野 安子様

小島新開の家

藤本 順子様 坂本 智美様 草岡 康子様

ゆうあいの里

大野 安子様 石川 剛資様 仁田様とお仲間の皆様

* お心遣いをありがとうございました。

手作りマスクのご寄付をいただきました。
重ねてありがとうございます。

